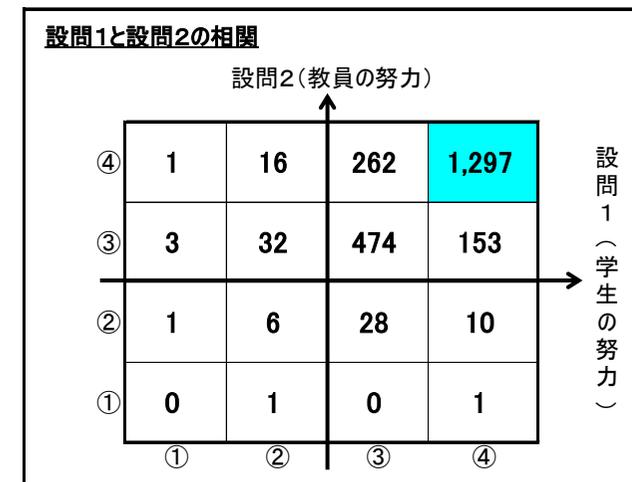
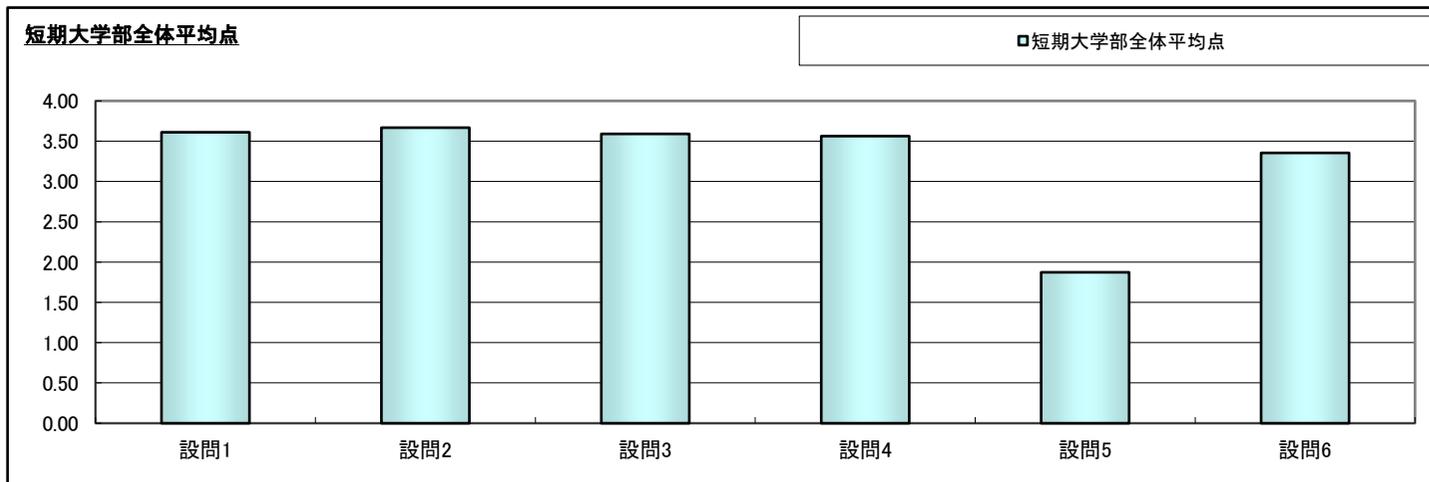


集計	短期大学部
----	-------

履修人数	3,400
回答者数	2,285

設問	設問文	平均点	回答数(人)／回答率(%)				無効回答	有効回答
			④	③	②	①		
1	あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.61	1,461	764	55	5	0	2,285
			63.9	33.4	2.4	0.2		
2	学生に理解させようとする教員の熱意・意欲を感じましたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.67	1,576	662	45	2	0	2,285
			69.0	29.0	2.0	0.1		
3	この授業は内容がよく理解できるように工夫・配慮されたものでしたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.59	1,455	727	101	2	0	2,285
			63.7	31.8	4.4	0.1		
4	学修環境は適切でしたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.56	1,379	823	74	9	0	2,285
			60.4	36.0	3.2	0.4		
5	授業時間以外で、この科目の授業1回当たりの平均的な学修時間はどの程度でしたか。(学修時間には、予習・復習・課題のほか、レポート課題作成、プレゼンテーションの発表準備、休み時間に関連事項のディスカッションをした、通学時間に関連事項を検索したなど全て含みます。) ④4時間以上 ③2～4時間未満 ②30分～2時間未満 ①30分未満	1.87	92	298	1,123	772	0	2,285
			4.0	13.0	49.1	33.8		
6	あなたはこの授業において、シラバスに示されている学修到達目標を達成できましたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.35	942	1,221	113	9	0	2,285
			41.2	53.4	4.9	0.4		



区分	短期大学部
----	-------

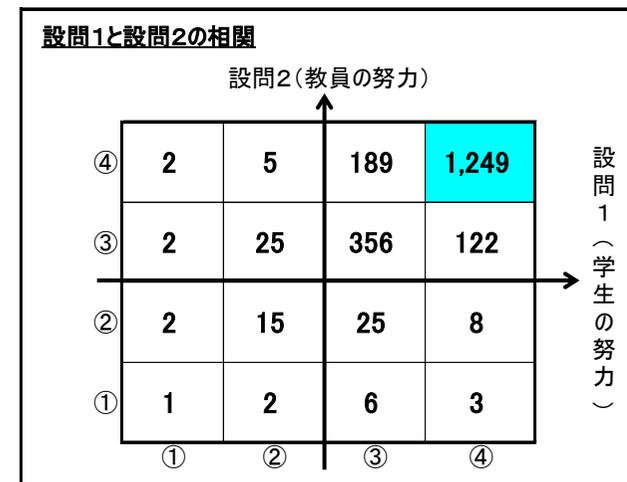
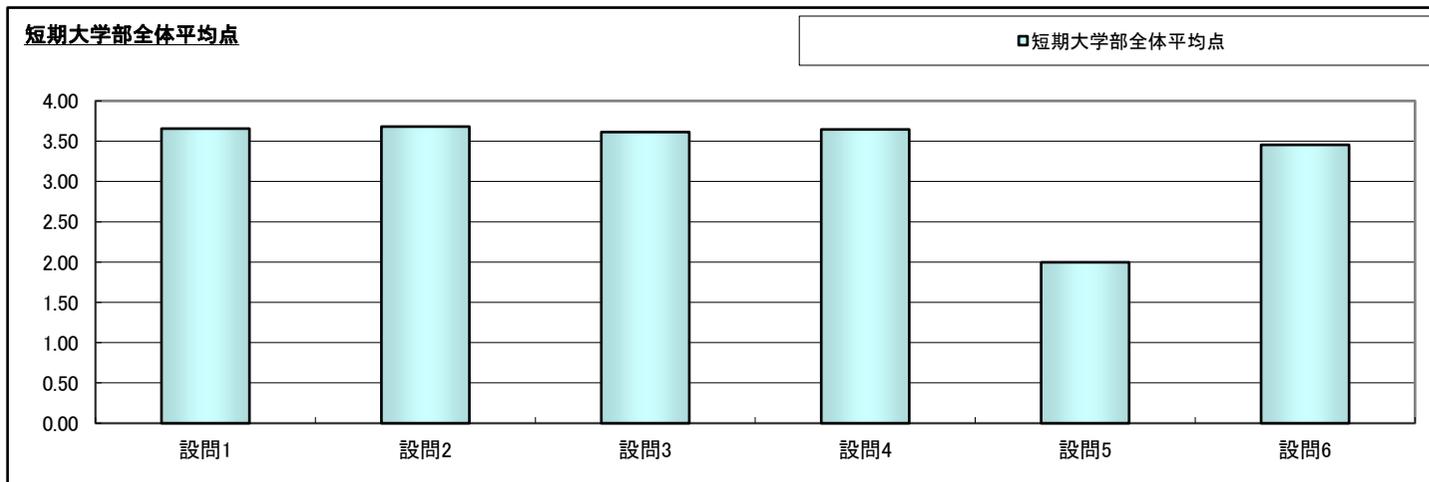
## 改善計画等

2021年度の1学期は、4月中は対面の授業が実施できたが、その後はほとんどすべての授業がオンラインとなってしまった学期である。そのため、授業の質の保証という観点からも授業アンケートの点検をおきたい。まず、設問1と設問2の相関においては95.7% (=2186/2,285) が第1象限にあり、例年と比較しても大きな変化はなく、学生と教員が相互に努力して授業を展開していたことがうかがえる。また、昨年度(2020年度)の1学期は当初からすべてオンラインで実施した学期であったが、各設問の平均値を比較したところ、すべての設問に対して0.03～0.15ポイント下降していた。とくに、設問5に関しては、昨年度の同学期の平均値が2.02であったのに対し、今年度は1.87であり0.15ポイント下降している。これは「①30分未満」が15.2%から33.8%に増加したのに対し、それ以外の時間帯とりわけ「③2～4時間」が24.7%から13.0%に大きく減少していることが原因である。一昨年度(2019年度)は対面授業であったが、設問5の平均値は1.93であったため、対面授業時と比較すると、減少はしているが大きな変化があったわけではないが、オンライン授業での授業外学修について考えていく必要があるのかもしれない。それ以外の点については若干下降しているとはいえ、大きな変化はないと考えられる。設問4は対面での授業環境に対して、オンライン授業時では「通信環境や受講環境への配慮」という設問だが、対面授業のとき(2019年度)平均値が3.61に対し、昨年度は3.60、今年度は3.56であり、オンラインで授業での学修環境についても、対面授業と同等であったと考えられる。設問6の「シラバスに示されている学修到達目標を達成できましたか。」に関しては昨年度との差はないが、他の設問と比較して平均値がやや低くなっている。これまでの改善計画にあるようにシラバスの周知が進んでいないのかはこのアンケートだけでは判断できないため、原因の究明は難しいが検討していきたい。また、大きな問題だと考えられるのは、このアンケートの回答率であり、今年度は2285/3400=67.2%と、ここ数年で最低の値となっている(2018前期91.3%、2019 1学期91.6%、2020 1学期77.6%)。オンライン授業の影響もあると思うが、正確なデータを得るため学生だけでなく教員へも注意を促していきたい。なお、学科別のデータも示されているが、本短大はほとんどの科目が両学科共通科目であるため、特筆すべき点は見られなかった。

集計	短期大学部
----	-------

履修人数	2,669
回答者数	2,012

設問	設問文	平均点	回答数(人)／回答率(%)				無効回答	有効回答
			④	③	②	①		
1	あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.66	1,382	576	47	7	0	2,012
			68.7	28.6	2.3	0.3		
2	学生に理解させようとする教員の熱意・意欲を感じましたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.68	1,445	505	50	12	0	2,012
			71.8	25.1	2.5	0.6		
3	この授業は内容がよく理解できるように工夫・配慮されたものでしたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.61	1,352	562	79	19	0	2,012
			67.2	27.9	3.9	0.9		
4	学修環境は適切でしたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.65	1,368	585	50	9	0	2,012
			68.0	29.1	2.5	0.4		
5	授業時間以外で、この科目の授業1回当たりの平均的な学修時間はどの程度でしたか。(学修時間には、予習・復習・課題のほか、レポート課題作成、プレゼンテーションの発表準備、休み時間に関連事項のディスカッションをした、通学時間に関連事項を検索したなど全て含みます。) ④4時間以上 ③2～4時間未満 ②30分～2時間未満 ①30分未満	2.00	114	347	971	580	0	2,012
			5.7	17.2	48.3	28.8		
6	あなたはこの授業において、シラバスに示されている学修到達目標を達成できましたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.45	1,025	891	82	14	0	2,012
			50.9	44.3	4.1	0.7		



区分	短期大学部
----	-------

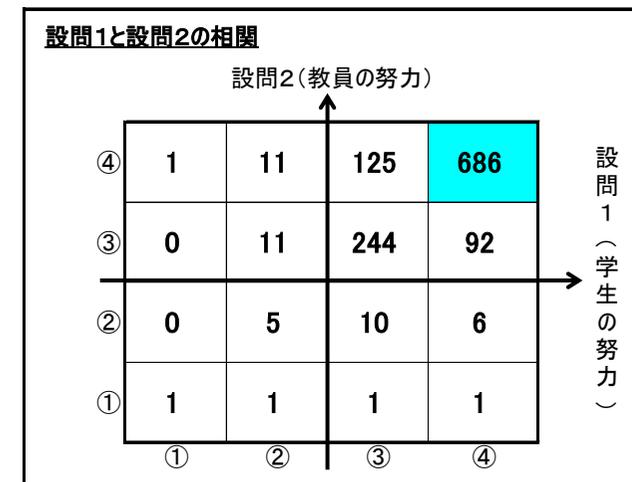
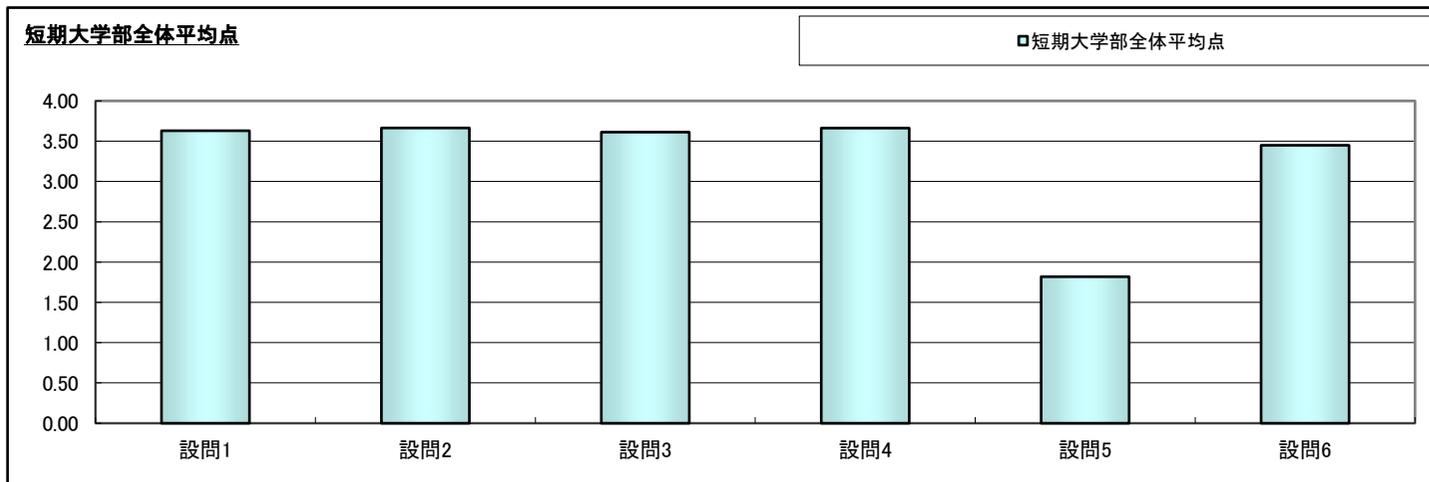
## 改善計画等

2021年度の2学期は実習系の授業を除き、対面授業とオンライン授業がハイブリッドで実施された期間であり、授業の質の保証という観点からも授業アンケートの点検をしておきたい。まず、設問1と設問2の相関においては95.2% (=1,916/2,012) が第1象限にあり、例年と比較しても大きな変化はなく、学生と教員が相互に努力して授業を展開していたことがうかがえる。また、すべての設問の平均値において、昨年度の同学期（2020年度2学期）と比較したところ、設問5以外は若干の上昇がみられているがほとんど変化はない。しかし、設問5に関しては、昨年度と比較して平均値がかなり下降している（2.26→2.00）。これは「①30分未満」が15.2%から28.8%に増加したのに対し、「③2～4時間」が24.7%から17.2%と減少していることが原因である。同年度の1学期の平均値1.87と比較すると上昇しているが、残念ながら各科目で1～2時間の授業外学修時間を達成しているとは言い難い。なかなか改善することが難しい点であるが、粘り強く改善方法についてFD等で検討を重ねていきたい。さらに、問題になるのがこのアンケートの回答率であり、今期の回答率は2,012/2,669=75.4%であった。同年度の1学期(67.2%)と比較すると増えたとはいえ、昨年度の2学期(81.7%)、一昨年度の2学期(82.1%)と比較すると低い数字であった。学生の意欲や教員の熱意をどのように考えているか、また、授業外学修時間や学習環境など、今後の改善点を見つける貴重な資料となるため、学生だけでなく教員へも推進できるように取り組んでいきたい。なお、学科別のデータも示されているが、本短大はほとんどの科目が両学科共通科目であるため、ほぼ同一の科目についてのアンケート結果となっている。設問の平均値についての差はほぼなく、特筆すべき点は見られなかった。

集計	短期大学部
----	-------

履修人数	1,656
回答者数	1,195

設問	設問文	平均点	回答数(人)／回答率(%)				無効回答	有効回答
			④	③	②	①		
1	あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.63	785	380	28	2	0	1,195
			65.7	31.8	2.3	0.2		
2	学生に理解させようとする教員の熱意・意欲を感じましたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.66	823	347	21	4	0	1,195
			68.9	29.0	1.8	0.3		
3	この授業は内容がよく理解できるように工夫・配慮されたものでしたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.61	779	374	37	5	0	1,195
			65.2	31.3	3.1	0.4		
4	学修環境は適切でしたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.66	822	348	20	5	0	1,195
			68.8	29.1	1.7	0.4		
5	授業時間以外で、この科目の授業1回当たりの平均的な学修時間はどの程度でしたか。(学修時間には、予習・復習・課題のほか、レポート課題作成、プレゼンテーションの発表準備、休み時間に関連事項のディスカッションをした、通学時間に関連事項を検索したなど全て含みます。) ④4時間以上 ③2～4時間未満 ②30分～2時間未満 ①30分未満	1.82	51	146	533	465	0	1,195
			4.3	12.2	44.6	38.9		
6	あなたはこの授業において、シラバスに示されている学修到達目標を達成できましたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.45	599	539	52	5	0	1,195
			50.1	45.1	4.4	0.4		



区分	短期大学部
----	-------

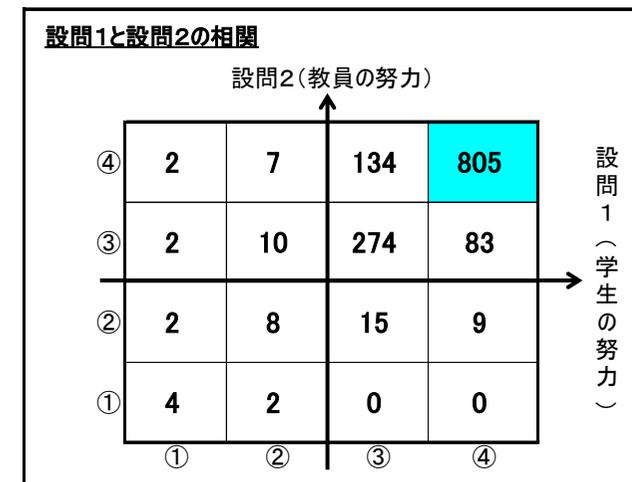
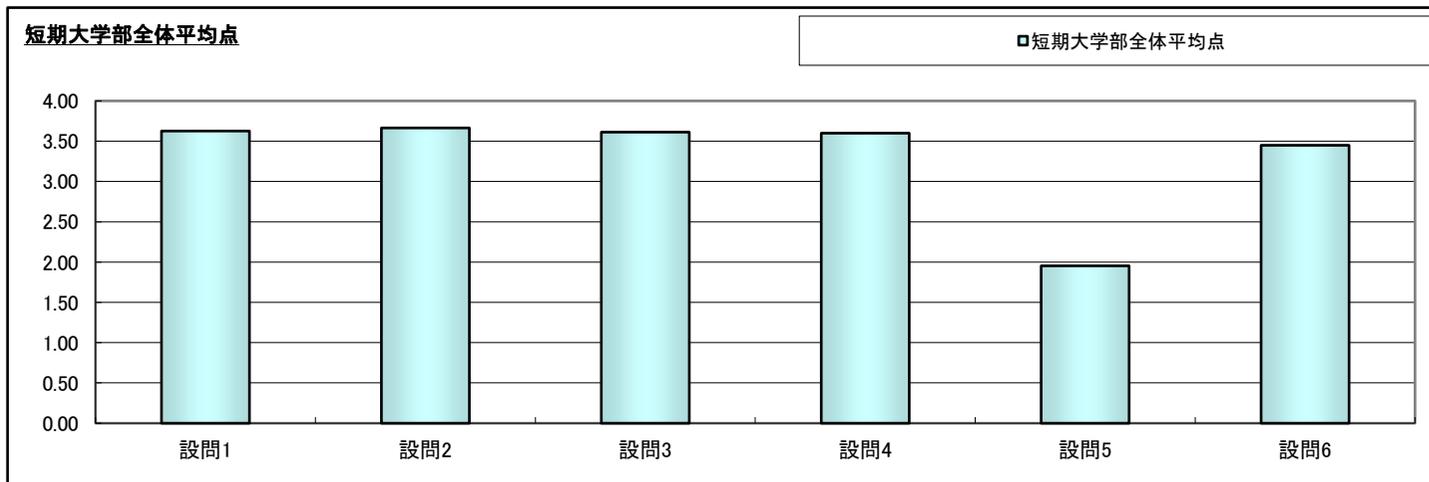
### 改善計画等

すべての設問の平均値において、昨年度の同学期（2020年度3学期）と比較したところ、わずかな変動は見られるが大きな変化はない。とくに設問1（学生の意欲）、2（教員の熱意）、3（授業の工夫）に関しては、今年度も「④そう思う」の回答が65%以上を占めており、「③ややそう思う」の回答を加えると95%を超えている。また、設問1と設問2の相関においては96.0%（=1147/1195）が第1象限にあるところから、学生と教員が相互に努力して授業を展開していたことがうかがえる。設問6（学修到達目標の達成）に関しても、「④そう思う」の回答は50.1%と他の設問と比較すると低いが、「③ややそう思う」が45.1%であり、2つを合わせると95%を超えており大きな問題はなかったと感じる。設問4の学修環境に関しては、昨年度と同設問と比較して3.53から3.66と、6つの設問の中で最も増加している。昨年度の3学期までは4期連続で下がってきていたが、昨年度の4学期から現在の水準に戻っており、学修環境というよりコロナ禍におけるオンライン授業のネットワークやパソコンの環境が整ってきたことを現わしているのかもしれない。設問5に関しては、6つの設問の中で昨年度と比較してもっとも平均値が下降しているが、1.89から1.82と0.07ポイントと差はわずかである。また、このアンケートの回答率だが、1195/1656=72.2%であり、昨年度の3学期(76.2%)と比較すると多少減少しており、さらにこの数年では減少傾向が続いていることは対応が必要だと考えられる。オンライン授業の影響かもしれないが、正確なデータを得るため学生だけでなく教員へも注意を促すとともに、デジタルデータの強みを生かし、アンケートに回答していない特定の学生や特定の科目を早期に発見し、回答を促すなど、取ることができる対応をとっていきたい。なお、学科別のデータも示されているが、本短大はほとんどの科目が両学科共通科目であるため、ほぼ同一の科目についてのアンケート結果となっている。とくにこの3学期に関しては、全体と商学科の科目が同一となっており、経営情報学科の結果もほとんど同一であり、特筆すべき点は見られなかった。

集計	短期大学部
----	-------

履修人数	2,152
回答者数	1,357

設問	設問文	平均点	回答数(人)／回答率(%)				無効回答	有効回答
			④	③	②	①		
1	あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.63	897	423	27	10	0	1,357
			66.1	31.2	2.0	0.7		
2	学生に理解させようとする教員の熱意・意欲を感じましたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.66	948	369	34	6	0	1,357
			69.9	27.2	2.5	0.4		
3	この授業は内容がよく理解できるように工夫・配慮されたものでしたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.61	897	404	46	10	0	1,357
			66.1	29.8	3.4	0.7		
4	学修環境は適切でしたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.60	877	427	43	10	0	1,357
			64.6	31.5	3.2	0.7		
5	授業時間以外で、この科目の授業1回当たりの平均的な学修時間はどの程度でしたか。(学修時間には、予習・復習・課題のほか、レポート課題作成、プレゼンテーションの発表準備、休み時間に関連事項のディスカッションをした、通学時間に関連事項を検索したなど全て含みます。) ④4時間以上 ③2～4時間未満 ②30分～2時間未満 ①30分未満	1.95	95	208	593	461	0	1,357
			7.0	15.3	43.7	34.0		
6	あなたはこの授業において、シラバスに示されている学修到達目標を達成できましたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.45	681	614	53	9	0	1,357
			50.2	45.2	3.9	0.7		



区分	短期大学部
----	-------

## 改善計画等

設問の平均値を昨年度の同学期（2020年度4学期）と比較したところ、ポイントにすると0.1未満と若干ではあるがすべての設問において下がっている。ただし、設問1（学生の意欲）、2（教員の熱意）、3（授業の工夫）に関しては、今年度も「④そう思う」の回答が65%以上を占めており、「③ややそう思う」の回答を加えると95%を超えており、また、設問1と設問2の相関においては95.5%（=1296/1357）が第1象限にあるところから、学生と教員が相互に努力して授業を展開していたことがうかがえる。設問6（学修到達目標の達成）に関しても、「④そう思う」の回答は50.2%と他の設問と比較すると低いが、「③ややそう思う」が45.2%であり、2つを合わせると95%を超えており、全体として大きな問題はなかったと判断する。設問4（学修環境）に関しては、今年度も、昨年度に引き続きオンライン授業での学修環境も含んでいるため注意深く見守る必要があった。オンライン授業開始時期から下降傾向となっていたが、昨年度の4学期から現在の水準に戻っており、3学期と同様、学修環境というよりコロナ禍におけるオンライン授業のネットワークやパソコンの環境が整ってきたことを現わしているのかもしれない。また、設問5の学修時間に関しても、昨年度の同時期と比較してもそれほど差はない。コロナ禍の2020年度およびこの2021年度については、2020年度の2学期におそらくオンライン授業を開始した影響が大きく出たと思うが、授業外学修時間が大きく増加したことを除けば、この2年間では減少傾向であるが、大きな変化はない。ただし、それ以前の値を比較すると若干減少しており、とくに「②30分～2時間」の層が増え、「③2～4時間」が減少している。今後、対面授業が増えてくると考えられるが、授業外学修時間に影響があるかどうか注意深く確認したい。アンケートの回答率は、1357/2152=63.1%と、これまでで最低レベルのかなり低い数字となった。最後の数週間が原則オンライン授業ということになってしまったことが影響したのかもしれない。3学期の改善計画にも同様の記述をしたが、デジタルデータの強みを生かし、取ることができる対応をとっていきたい。なお、学科別のデータも示されているが、本短大はほとんどの科目が両学科共通科目であるため、ほぼ同一の科目についてのアンケート結果となっており、特筆すべき点は見られなかった。